



8月 おいすかだより

2020年8月11日発行

夏休み、いかがお過ごしですか。ジャカルタも日本も暑い時ですから、のんびり過ごしたいものですね。下の画像はジャカルタ市街の街路樹です。気温は高く



ても湿度の低いジャカルタ、帰国された方はジャカルタの、乾いた風を懐かしく思い出しておられることでしょう。

右下の画像を大きくして見てみましょう。長い尻尾の生き物が川から這い上がり、日向ぼっこしているのがわかります。この生き物はインドネシア語でビアワック(BIAWAKU)、ワニのような大トカゲの一種です。ジャカルタの中心街の川にも出没することがあるようです。先月ご紹介したインドネシアの



昔話『まめじかカンチルの冒険』(福音館書店)では、小さくても賢いまめじかのカンチルと、獐猛だけれども少し抜けている、このビアワックワニとのやり取りがユーモラスで楽しく、そして時にスリル満点な物語となっています。

みなさまの家の近くには、どんな生き物がいますか。虫でしょうか、魚でしょうか。家の中や家の周りのどんなところに、どんな生き物がいるのか探して調べて、「おたのしみかい」で教えてくださいね。

【先生たちの夏】

オイスカ幼稚園がインドネシア幼稚園教職員組合の研修のお手伝いしていることは既にお伝えした通りですが、先月はこの研修会で福音館書店・絵本研究室の池田卓也氏が「読み聞かせがはぐくむ子どもの力」、彰栄保育福祉専門学校の山梨有子先生が「幼児のスマホ依存の現状と課題」と題するご講演をなさいました。園長先生はご家庭と幼稚園と一緒に子育てをする意義を話し、りさ先生は日本語/インドネシア語の通訳、シンタ先生、シャンティ先生は翻訳等の準備を頑張りました。次回以降は今日子先生も登壇予定です。インドネシア幼稚園教職員組合の先生方は約300,000人、そのうちの1,000名が34州からオンラインで参加され、ほかに組合加盟園園児保護者の方々も出席されました。今後は皆さまにもご案内させていただきますね。



5月の第1回研修会ではナディム・マカリム教育文化省大臣が動画で、アニス・バスウェダン・ジャカルタ州知事・元教育文化大臣が公用車内からオンラインで祝辞を述べられ、理事長先生もオイスカ幼稚園代表としてご挨拶、インドネシア各地の幼稚園の先生方の舞踊・歌・演奏のパフォーマンスもありました。8月17日はインドネシアの76回目の独立記念日ですが、インドネシア幼稚園教職員組合の歴史は古く今年で創立72周年です。来月からはジャカルタ国立大学教育学部で幼稚園教諭を目指す学生さんたちが、オイスカ幼稚園の教育環境で実地研修を開始いたします。

(上画像は、独立76周年を祝うリッポーモールのディスプレイです)

【8月 おたのしみかい】

29日ジャカルタ時間14時(日本時間16時)から、おたのしみ会を行います。前日までにURLをお送りいたします。みんなで楽しみましょう!